

あわせて見ると、

世界がひろがる。

Feature Exhibition:
Treasures of Tōdaiji's Omizutori Ritual

特別陳列展 御取水 一東大寺法要一

특별전열 도다이지의 법회 '오미즈토리'

特別陳列

お水取り

令和6年
2月10日[土]→
3月17日[日]
奈良国立博物館 西新館

休館日◆2月13日(火)・19日(月)・26日(月)
開館時間◆午前9時30分～午後5時

※入館は閉館の30分前まで
※東大寺二月堂修二会(お水取り)期間(3月1日～14日)のうち、
3月12日(龍松明の日)は午後7時まで、その他の日は午後6時まで。
その他、臨時に開館時間を変更することがあります。

観覧料金◆一般700円、大学生350円

※高校生以下および18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳またはマイ
カード(スマートフォン向け障害者手帳アプリ)をお持ちの方(介護者1名を含む)
は無料です。

※高校生以下および18歳未満の方と一緒に観覧される方は、一般100円引き、
大学生50円引きです(親子割引)。
※この観覧料金で、同時開催の名品展「珠玉の仏教美術」・「珠玉の仏たち」・
「中国古代青銅器」をご覧になれます。

主 催◆奈良国立博物館、東大寺、NHK奈良放送局、
仏教美術協会

上から：華嚴経(二月堂焼経) 奈良時代(8世紀) 奈良国立博物館
重要文化財 香水約 鎌倉時代 建長5年(1253) 東大寺

二月堂曼荼羅 室町時代(16世紀) 東大寺

奈良国立博物館
NARA NATIONAL MUSEUM

〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内) ハローダイヤル 050-5542-8800

Feature Exhibition:
Nigatsudō
The Ritual Space of Tōdaiji Temple's
Shunie Repentance Ceremony

专题展 二月堂 一法会・修二会的堂舎一

특별전시 토다이지의 불당 '니가츠도'

一슈니에가 열리는 법회 공간一

特集展示

二月堂

一修二会を支える法会空間一

令和6年
2月10日[土]→
3月18日[月]
東大寺ミュージアム

二月堂より奈良市街を望む
撮影：三好和義



二月堂縁起絵巻(部分) 室町時代(16世紀) 東大寺

休館日◆会期中無休

開館時間◆午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

観覧料金◆大人(中学生以上)600円、小学生300円

※小学校就学前(6歳未満)は無料です。

※東大寺友の会(本人のみ)・大仏奉賛会(本人と同伴2名)・唯心会(本人のみ)の会員は、
受付にて会員証をご提示いただけますと無料でご入館いただけます。

※個人の利用に限り、大仏殿とのセット券(中学生以上1,000円、小学生300円)がございます。

奈良国立博物館と

東大寺ミュージアムの

両会場をご覧頂いた方に

二月堂本尊光背をモチーフと

した限定の特製散華をプレゼント

致します。どちらかの会場受付にて

もう一方の半券をご提示下さい。

東大寺ミュージアム
TODAIJI MUSEUM

〒630-8208 奈良市水門町100 電話 0742-20-5511

奈良国立博物館「西新館」

特別陳列 お水取り

この特別陳列「お水取り」は、東大寺二月堂において「お水取り（修二会）」が行われる期間（毎年三月一日～十四日）にあわせ、関連する彫刻・絵画・書跡・工芸品・考古遺物などを集めて陳列するもので、平成九年（一九九七）に第一回が行われて以来、毎年好評を博しています。

「お水取り」で行われる複雑な行法（ぎょうぽう）儀礼は長い歴史の中で徐々に形成されたもので、神仏習合的な要素など、多様な宗教・文化の歴史が織り込まれています。

基本的には非公開の行法であるため、一般にはうかがい知れない神秘性を多く含んだ「お水取り」ですが、本展を通じてこの掛け替えない儀式への理解を深め、その尽きぬ魅力を感じ取って頂ければ幸いです。



牛玉宝櫃・朱宝印
室町時代（15世紀）東大寺
「お水取り」の儀式で厄除けの「牛玉札」を置く板木。
漢方薬の牛黄を混ぜた墨で描かれる。



二月堂縁起（部分）
室町時代 天文14年（1545）東大寺
白黒の鰐が岩から飛び出し、お水取りに欠かせない水（香水）が湧き出た場面

達陀の行法

水天・火天のほか「八天」と呼ばれる様々な神に扮した僧侶練行衆が堂内を駆け巡る様子。



二月堂本尊天衣片
奈良時代（8世紀）東大寺
寛文7年（1667）の火災で焼損した二月堂本尊の天衣片

東大寺二月堂の「お水取り」は、正しくは「修二会」といい、二月堂の本尊に対し、「十一面観音悔過」を行うものです。悔過とは過ちを懺悔し、あわせて除災招福を祈ることです。この「お水取り」は天平勝宝四年（七五二）に実忠和尚によって始められたといわれ、千二百七十年をこえる長い歴史をもっています。

平氏による南都炎上、戦国時代の争乱、先の大戦における空襲の危機など、数々の困難を乗り越え、「不退の行法」として、一度の中断もなく続けられてきた「お水取り」は、わが国を代表する生きた文化遺産といえましょう。



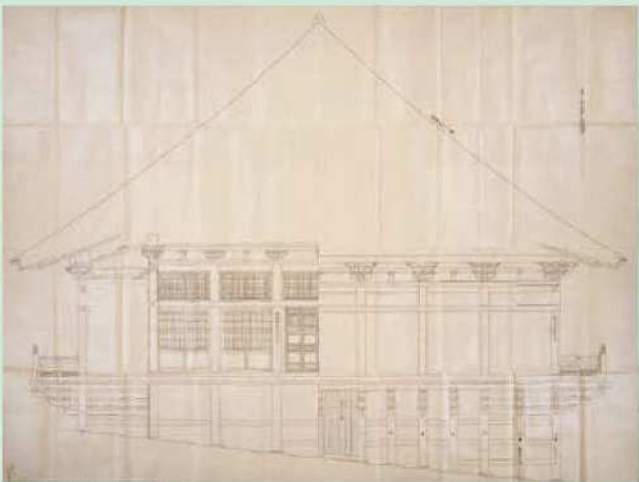
撮影：三好和義

東大寺ミュージアム「第4室」

特集展示 二月堂 —修二会を支える法会空間—

修二会は奈良時代以来、現在に至るまで途絶えることなく行われている稀有な法要です。その作法には時々の付加要素があるとはいえ、幾重もの層の下には奈良時代の古式が保存されています。

二月堂はその名が示すとおり、修二会を行うための堂宇として建立され、法会内容の発展とともに建築空間も変遷を遂げてきました。法会と建築空間は密接な関係にあることは言を俟ちません。



二月堂再建地割図（梁行）
江戸時代・寛文7年（1667）
寛文7年、2月14日の未明、失火により奈良時代創建の二月堂は炎上した。江戸幕府の主導によって再建された際の設計図。



滑車（二月堂内陣戸帳用）
江戸時代・寛文9年（1669）カ
「内陣」と「礼堂」の間を仕切る戸帳を巻き上げるための滑車。この戸帳によって練行衆の聖域と観衆者の空間が隔てられている。江戸時代に二月堂が再建された際のものと思われる。



国宝 二月堂
江戸時代・寛文9年（1669）

撮影：三好和義

東大寺ミュージアム

東大寺総合文化センター
〒630-8208 奈良市水門町100 電話 0742-20-5511
<https://www.todaiji.or.jp/information/museum/>
交通案内 JR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス「東大寺大仏殿・春日大社前」下車徒歩5分。または近鉄奈良駅から、ぐるっとバス（大宮通ルート・奈良公園ルート）「大仏殿前駐車場」下車すぐ

奈良国立博物館

〒630-8213 奈良市登大路町50番地 ハローダイヤル 050-5542-8600
<https://www.narahaku.go.jp/>
交通案内 近鉄奈良駅下車徒歩約15分。またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス（外回り）「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

奈良国立博物館「西新館」▶
名品展「珠玉の仏教美術」
12月9日（土）～3月17日（日）

東大寺ミュージアム「第1～3室・5室」▶
常設展示「東大寺の歴史と美術」

公開講座 令和6年2月10日（土）「二月堂が国宝に指定された経緯を探る」

講師／狭川晋文 師（東大寺長老・東大寺総合文化センター総長）

【時間】 13:30～15:00（13:00開場） 【会場】 奈良国立博物館 講堂
【定員】 各180名（事前申込制）。抽選による座席指定制です。
【申込方法】 当館ウェブサイト「講座・催し物」→「公開講座」申込フォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください（WEB申込のみとなります）。
【受付期間】 1月15日（月）10:00～1月29日（月）17:00
【参加費の送付】 当選者には、2月2日（金）までに参加証（当選メール）をお送りします。当日必ずご提示ください。
※聴講無料（展覧会観覧券等の提示は不要です）。※応募は各回お1人1回でお願いいたします。※参加証で展覧会場に入場することはできません。※当選者にキャンセルが発生した場合、繰り上げ当選連絡を行います。詳細はウェブサイトをご覧ください。

同時開催